



第2回 楽しく読書！夏休みの悩みも解消！

読書感想文講座

実施報告

【日時】平成28年7月16日(土) 10時~12時
【場所】吉敷地域交流センター 2階 講座室
【講師】宇部市立小羽山小学校 教頭 前田 真奈美 氏
【受講生】大人29人(小学生の保護者) 子ども3人



夏休みの最大の悩み、「読書感想文」。わが子にどう教えればいいのか、どう書けばいいのかもよくわからない！読書感想文の書き方など、どうサポートすればよいのかを聞くことができました。

はじめに

夏休みが始まる前に、講座にいらっしゃった保護者の方は素晴らしいと思います！

読書感想文は親子で悩むもの…。これが終われば、夏休みは終わったも同然です！

でも、読書感想文ありきの読書をするのではなく、楽しんで読書ができると良いですね。



前田真奈美先生

読書の発達段階

大人になって本が身近にあり、本と親しむ生活を「読書の自立」と呼んでいます。読書の自立をするには、乗り越えなくてはいけない「2つの山と1つの川」という3つの障がいがあります。

① 「言語環境川」…5~6歳ごろ、文字が読めるようになるころ

文字は読めるようになって、文章がスラスラ読めるとは限りません。文字や話し言葉は身近にあっても書き言葉は本の中にしかないのも、抵抗がある子もいます。

⇒読み聞かせをしましょう！（何歳からでも。遅すぎることはありません）

文章を耳から入れていくと、知らず知らずのうちに書き言葉に慣れます。

愛情・親子のスキンシップにもとても良いです。



② 「自分から読む山」…小学校高学年、自分から本を読めるようになるころ

小学4年生には【ゾロリの壁】が存在します。「かいけつゾロリ」までは楽しく読めるけれど、ゾロリを卒業するころになると、字が多い本へ移行できずに読書から離れてしまいます。

⇒作者・シリーズに興味をもたせましょう！

面白いシリーズ（「ハリー・ポッター」「精霊の守り人」「こそあどの森」など）をおすすめします。

③ 「考えて読む山」…中学・高校生、自分が思い悩んだとき本から何かを得られるようになるころ

多くの子ども達が「クラブ活動・受験・スマホの谷」に陥り、最も読書から離れてしまう時期です。

⇒乗り越えるために【ミエの読書】。「賢く見られたい」「かっこよく思われたい」などの友達や異性への見栄から読書をする傾向があります。

すべて乗り越えれば、読書を心の栄養にして、豊かな一生を過ごせるようになるでしょう。

読書感想文の書き方



Step1.本を選ぼう

本との出会いは大切です。**本人が「面白そう」と思ったもの**がいいでしょう。また、**感想や意見がもてそうな内容の本**の方が感想文に向いています。(感想画に向いている本もあります。)

書きたい本が見つからないときはこれがおすすめ!

- ・低学年…課題図書、じゃんけんのすきな女の子、しゅくだい大なわとび など(家族、体・昆虫のふしぎ)
 - ・中学年…課題図書、かあちゃん取扱説明書、子犬工場 など(友達、仲間、夢、仕事、いのち、福祉)
 - ・高学年…課題図書、トンネルの森、大好き!クサイさん など(友情、戦争、震災、環境問題、生き方)
- 教科書に載っている作家の別作品や、身近なもの(犬、サッカーなど)をテーマにした本も◎。

Step2.本を読もう

◆「読んだらすく書く」は絶対にダメ!

計画的に進めないと決められた枚数に収まりません。「ここが好き!」という場面やセリフ、疑問に思ったところ、あらすじなどをメモして、付箋をはりながら構想を練りましょう!

また、**読んだ本の感想についてお家の人や友達と話してみましょ!**(お母さんやお父さんも同じ本を読んでみてください。)

Step3.読書感想文を書こう

◆感想文の構成

書き出し(本との出会いなど)、あらすじ、感想、まとめ で出来ています。

◆あらすじを書こう

- ・だれが ・どこで ・いつ ・なにをした ・どうして(理由)

いわゆる5W1Hです。「どういう本だった?」と聞けば、子どもはあらすじを話せます。

◆感想を書こう

ここが一番難しい!子どもが書くと「びっくりしました。」「悲しかったです。」などボキャブラリーの少ない一文の感想になってしまいがちです。**いかに感想の場면을膨らませるか**が大切です。

【感想の書き方1】

- ・アイデア1…なぜそう思ったのか
- ・アイデア2…どんな場面でそう思ったのか
- ・アイデア3…自分と登場人物を比べる

【感想文の書き方2】

- 「な・た・も・だ」を使う
- ・な…なぜなら
 - ・た…たとえば
 - ・も…もしも
 - ・だ…だから

【感想の書き方3】

言葉の言い替えをしてバリエーションを増やしましょう。

- ・悲しかった…かわいそう、心が痛んだ、切ない気持ちになった、涙が止まらなかった
- ・うれしかった…心がはずむ、顔がほころんだ、おどりだしたい気分、ハッピーな気分
- ・こわかった…恐怖を感じた、せすじがぞっとした、後ろに何かいるような気がした
- ・ドキドキした…わくわく、はらはら、スリル満点、息をのんだ などなど



◆書き出しを考えよう

- ・本の紹介から
- ・感想から
- ・きっかけから
- ・作者紹介から
- ・家族との会話から
- など

◆まとめを考えよう

- ・本の感想で
- ・作者の考え、本のテーマで
- ・反省、目標で
- ・「もしも」で
- など

◆書く量を配分しよう(400字詰め原稿用紙 3枚の場合)

書き出し(5行)、あらすじ(10行)、

感想【心に残ったこと】(10行)【自分の体験・考え】(25行)、まとめ(10行) が目安です。



ワークシートを使って書いてみよう

例) 余白部分に記入していくだけで、感想文が書けます。(A4 サイズのものが最終ページにあります。)

6	5	4	3	2	1
この本を読むことによって、わたしは、 という経験をしたと思います。	わたしは、この本を読んで、いろいろなことを考えました。 まず、 次に、 わたし、	この本のあらすじを書きました。	わたしがこの本を読むことになったきっかけは、 です。	この本を読んで、わたしが強く思ったのは、 です。	わたしが読んだのは、 の本です。

※コンクールに出したいときは…

- 題名、名前は枠外に書きましょう。
- 決められた枚数より3行以上少ない・1行でもはみ出すと選外になります。最後の一行まで書きましょう。
- 原稿用紙はB4にしましょう。

前田先生からのメッセージ



☆「わたしの読書」を読んでみましょう。「読書感想文ってこんなもの」ということが分かります。どんな感じで書けばいいのか、ほかの人がどのように書いているかもわかります。子どもにとっても、保護者の方にとっても勉強になります。

☆親子読書を楽しみましょう。感想文を書くために本を読むものではありません。子ども自身のためです。子どもと読書をする時間も大事な時間です。感想文に頭を悩ませた日々もいい思い出になるでしょう…。子どもころの読書体験が大人になってから役に立つこともあります。

☆読み聞かせに年齢は関係ありません。読み聞かせでなく一緒に読む「読み合い」も良いでしょう。

講座の様子

先生ご自身の子育て体験や、読書感想文コンクールについて、また読書感想文を書くときのコツなど、興味深いお話を1時間半しっかり聞くことができました。

お子さんに読み聞かせをしていた絵本や、おすすめの本を持ってこられており、実際に本を読む場面も…。

受講生の皆さんは熱心にメモを取りながら聞いておられました。

講座終了後も先生に質問されたり前田先生おすすめの本を見たりされる方が多くいらっしゃいました。



受講生の方からの

ご意見・ご感想

一部ご紹介

☆読書感想文が自分で書ける…なんて、魔法の言葉です…！三男(4年生)も、昨年から夏休みの宿題として読書感想文が始まり、親子で格闘する夏が始まると思うと気が重いばかりでしたが、少し気を楽しみに取り組みそうなきっかけを、今日はたくさんいただきました。息子にマッチした本で、自分の言葉で感想がのびのび書けると良いです。

☆親子で聞かせていただいてとても勉強になりました。文章を書くにはコツがあり、それをもとにするとスラスラ書けるような気がしました。今年は感想文を書くのが楽しみです。

☆先生の子育て体験を交えられ、とても分かりやすい講座でした。

小学1年生の娘は、本が好きで本屋に行くといつもなかなか帰れませんが、これからも親子ともに豊かな生活が送れるよう、本を楽しんでいこうと思います。

☆感想文についてだけではなく、読書・読み聞かせの大切さ、育児についてのお話も伺えてとても勉強になりました。ありがとうございました。

☆前田先生の子育ての話を盛り込みながらの講座だったので、引き込まれて話を聞けました。ありがとうございました。

☆毎年悩みだった読書感想文が、今年は、なんだか楽しみになってきました。子どもと本を選んで、親子で読書感想文に取り組んでいこうと思います。

☆先生の子育てのお話が心にしみました。深い話で本当に涙が出そうになりました。

☆私自身が感想文の書き方が分からなかったので、今日は自分のために受講しました。基本は「読み聞かせ」。この重要性をあらためて確認しました。親子読書の時間を楽しみます。

☆子どもへの読み聞かせを今夜からしていきたいと思います。最近は、子どもに「読んで」と言われても「忙しいから。眠たいから。」と言って、避けていました。先生の育児話には涙が出ました。

ご協力ありがとうございました



読書感想文を書こう！

1

わたしが読んだのは、

という本です。

2

この本を読んで、私が強く思ったのは、

ということです。

3

わたしがこの本を読むことになったきっかけは、

ということです。

4

この本のあらすじを書きましよう。

5

わたしは、この本を読んで、いろいろなことを考えました。
まず、

次に、

さらに、

6

この本を読むことにより、わたしは、

という経験をしたと思います。

読書感想文を書こう！

1

本の題名

2

この本を読もうと思ったわけ

3

この本の主人公について

4

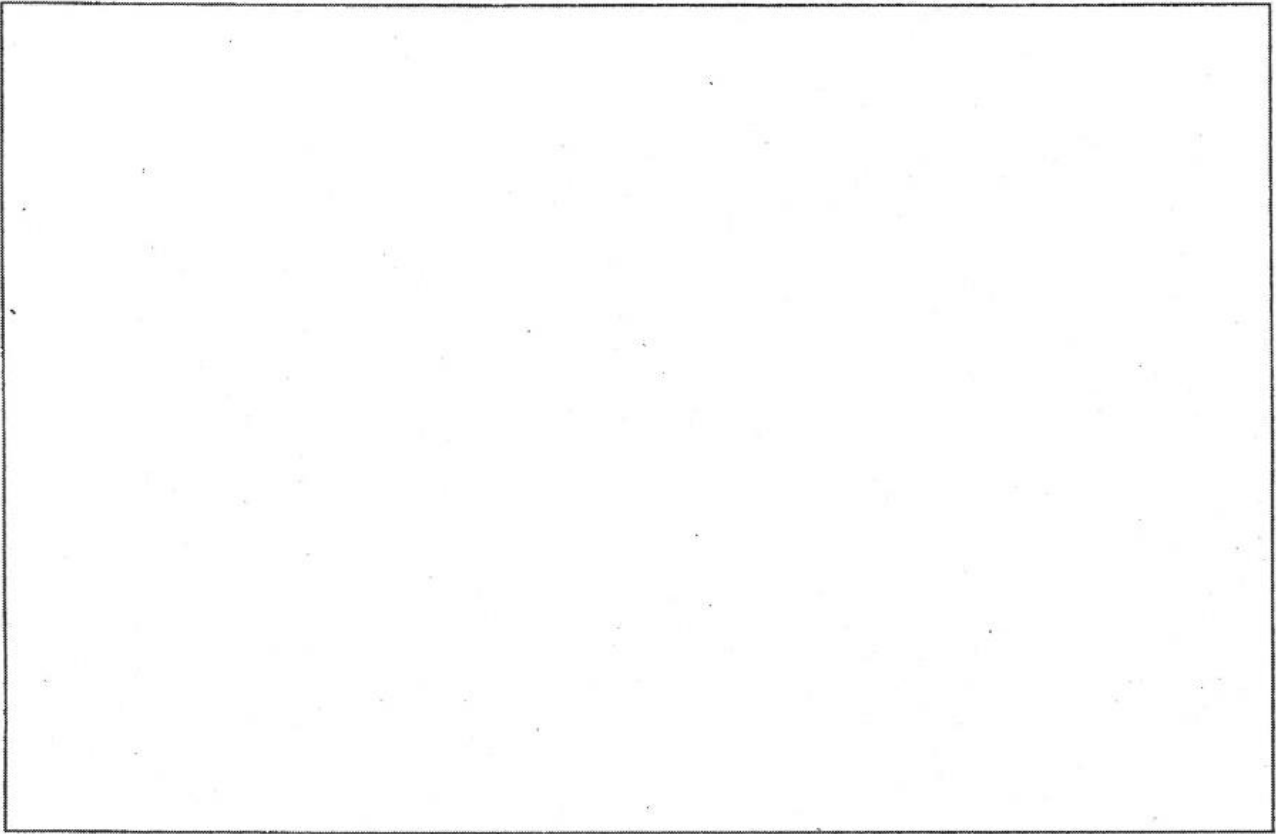
自分と主人公が似ているところ

5

一番心にのこったこと、または、この本を読んで伝えたいこと

とくじよかんぞうぶん
読書感想文を書こう! (

1 「書き出し」を考えよう



2 「まとめ」を考えよう

